

岐阜県各務原市がPark-PFI（公募設置管理制度）を採用し計画する「前渡地区木曽川周辺整備事業」の起工式が15日、木曽川右岸の現地で開かれた。約2万平方メートルにデイクランピングやBMXなどが楽しめる公園を整備する。12月オ



イメージパース（写真はすべてスペース提供）

各務原市 前渡地区木曽川周辺Park-PFI起工

プランを目指す。整備・運営は鳶井・オノコム・スペースVが担当する。神事では、浅野健司市長と熊田光男鳶井社長が鎌、佐々木靖浩スペース社長が鍬、渡邊直樹オノコム取締役最高人事責任者（CHO）が鋤を入れた。

直会で浅野市長は「素晴らしい拠点として新たなにぎわいが生整備・運営は鳶井V」

まれる場所になるだろう」と期待を述べた。計画地は前渡西町、下切町。地形を生かした遊び場などを整備し、多世代が自然と親しめる交流創造拠点を目指す。契約期間は4年5月まで。

整備・運営は鳶井V



鎌を入れる浅野市長（右）と熊田社長



鋤を入れる佐々木社長



鋤を入れる渡邊取締役

